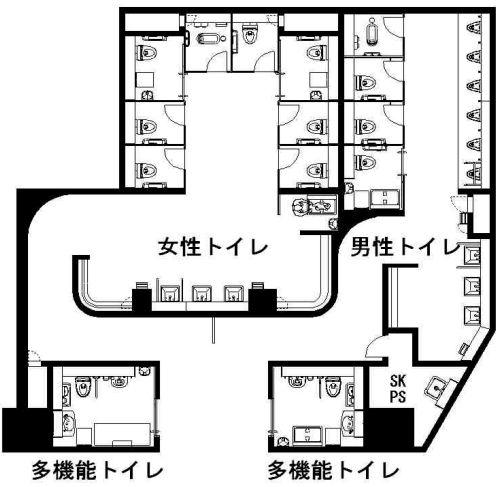


外観

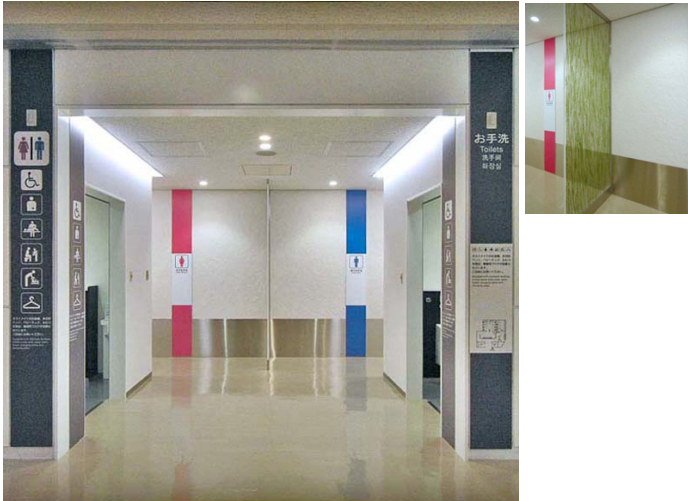


1992年にオープンした第2旅客ターミナルビル。
提供：成田国際空港株式会社

トイレ図面



入口



スーツケースなどで壁に傷がつかないように、巾木を600mmの高さまで立ち上げている。また、トイレから出てきた時に視線が合わないように、男女トイレの間に半透明の仕切りを設置している(写真右上)。

女性トイレ身だしなみ・おむつ替えコーナー



入口近くの壁には全身鏡を設置し、トイレの順番を待つ間に身だしなみをチェックできるようにしている。また、乳幼児連れに配慮して、ベビーシートやベビーチェアを備えたおむつ替えコーナーを用意。

女性トイレ 全体



混雑緩和のため、洗面コーナーはゆとりのあるスペースを確保。洗面コーナーには鏡を設けず、両サイドにパウダーコーナーを配置している。壁材には耐傷性や衝撃にも強いハイドロセラ・ウォールを採用。

女性トイレ パウダーコーナー



パウダーコーナーは、スーツケースをカウンター下に置くことができるオープンタイプ(写真左)と、手荷物が置ける2段カウンタータイプ(写真右)を用意している。

女性トイレ 大便器コーナー



スーツケースが入るスペースを確保した大便器ブースは、間仕切り壁を天井まで立ち上げて個室感を高めている。節水性と清掃性に優れた壁掛大便器を採用し、すべてのブースに手すりを設置している。

男性トイレ 洗面・パウダーコーナー



女性トイレ同様に混雑配慮として、洗面コーナーには鏡を設けず、対面には、2段カウンタータイプのパウダーコーナーを配置している。

男性トイレ 大便器コーナー



RESTROOM ITEM 01の小便器の足元には尿の飛散による汚れやにおいを抑えるハイドロセラ・フロアPUを採用。男女トイレともベビーチェアやフィッティングボードなどを備えた広めの大便器ブースを完備。

多機能トイレ



左右勝手違いの多機能トイレを2ヶ所設置。車いす使用者、オストメイト、乳幼児連れなど、さまざまな利用者を想定し、背もたれ・手すり・汚物流し・ベビーシート・ベビーチェア・大型ベッドなどを完備している。

建築概要

名 称	成田国際空港第2旅客ターミナルビル本館
所 在 地	千葉県成田市古込字古込1-1
施 主	成田国際空港株式会社
設 計	株式会社梓設計
建築施工	エアポートメンテナンスサービス株式会社
設備施工	株式会社成田エアポートテクノ
竣工年月	(改修)2011年10月

水まわりの特長

＜改修の経緯＞
2011年10月の新規航空会社就航に伴い、国際線到着ロビーと国内線チェックインロビー横のトイレを移設することになり、合わせて改修を行った。改修にあたっては、設備の老朽化を解消するとともに、お客様の意見を取り入れながら、変化するニーズに対応したトイレに一新された。

＜トイレの特長＞
『スーツケースが持ち込めない』というお客様の声を反映するため、TOTOテクニカルセンター(東京都)で空間および動作検証を行い、大便器ブースは幅1200mmに設定し、スーツケースごと入れるスペースを確保。大きな荷物を持つお客様の使いやすさを考えたトイレ空間となっている。また、お客様から『におい』に関するご意見が多かったため、壁材には光触媒による優れた防臭・抗菌効果と清掃性を発揮する大型防汚陶板のハイドロセラ・ウォール、小便器の足元には尿の飛散による汚れやにおいを抑えるハイドロセラ・フロアPUを採用し、清掃性やにおいにも配慮。また、混雑緩和のために大便器ブースを増設したほか、車いす使用者、オストメイト、乳幼児連れなど、さまざまなお客様に対応した設備を用意。おむつ替えコーナー・広めの大便器ブース・左右勝手違いの多機能トイレなど、充実したトイレ環境を整えている。